

人間社会学部／ 地域社会コース・総合人間社会コース	職名	准教授	氏名	陸 麗君
------------------------------	----	-----	----	------

1. 教員紹介・主な研究分野

1997年6月一橋大学社会学研究科博士課程修了。博士（社会学）。農林水産省農業総合研究所（現農林水産政策研究所）海外部特別研究員、中国華東理工大学社会与公共管理学院准教授を経て2019年4月から本学に着任。

私の初期研究は高度経済成長にともなう日本の地域社会の構造変化に焦点をあて、「個」と「共同」の視点からアプローチしてきた。その後、「個」と「共同」の枠組みで、日本社会との比較をしながら、改革開放後の中国の地域社会の変容の解明に取り組んできた。

近年、グローバル化のなかの都市コミュニティと移民問題に焦点をあて、研究を進めている。主に日本における外国人問題、特に華僑・華人の起業とコミュニティ、また中国の「農民工」の国内移動と都市コミュニティ問題、中国の都市基層社会の変容、日中コミュニティの比較に関する調査研究である。

2. 研究業績

①最近の著書・論文

<著書（分担執筆 編著）>

- ・ 陸麗君・蕭閔偉・水内俊雄編著 2021年6月 『大都市における人口構造の変化と空間の変容』、URP 先端的都市研究シリーズ 28、大阪市立大学都市研究プラザ。
- ・ 陸麗君 2021年8月、「第14章 「【中国】管理か自治か—居民委員会の「治理」モデル」大内田鶴子・鯨坂学・玉野和志編著『世界に学ぶ 地域自治』学芸出版社、pp.224~239。
- ・ コルナトウスキヒェラルド・陸麗君編著 2022年3月 『外国人・寮付き派遣労働者の地域生活を支える社会的インフラ』、URP 先端的都市研究シリーズ 33、大阪市立大学都市研究プラザ。

<論文>

- ・ 陸麗君「世界のコミュニティ 中国 中国との比較からみた日本の町内会」2020年6月、『建築ジャーナル』No.1305 2020年6月号 pp.15~17。

<報告>

- ・ 池田孝博・中原雄一・陸麗君・松岡佐智・佐藤繁美 2020年2月、「福岡県立大学人間社会学部紀要の査読制度導入後の現状と諸課題」、『福岡県立大学人間社会学部』Vol.28 No.2、pp123~131。

②その他最近の業績

<学会発表>

- ・ 陸麗君 2020年11月1日、新型コロナウイルス蔓延下における華僑・華人の滞在と経済活動の現状と課題」第93回 日本社会学会（Zoomによる発表）。

- ・ 陸麗君 2020年12月12日、「感染症パンデミック危機状況下における外国人の経済活動と居住の現状と課題」大阪市立大学主催「東アジア包摂都市ネットワーク国際シンポジウム「2020年度共同利用・共同研究課題（4）」（Zoomによる発表）。
- ・ Toshio Mizuuchi, Lijun Lu, Zechuan Zhu 6th July 2021 “The revival of a declining shopping street in the old inner-ring area through the vigorous action of Chinese immigrants; the case of Osaka” “Urban Mobilities in the 21st Century” FFJ-MICHLIN FOUNDATION WORKSHOP. (Zoomによる発表)。
- ・ 陸麗君 2022年11月1日、「華僑・華人の起業と集住—大阪インナーシティを事例に—」中国社会科学院、上海研究院主催「大都市的治理与参与」暨纪念中日邦交正常化50周年国际学术研讨会（「大都市のガバナンスと参加 中日国交正常化50周年記念 国際シンポジウム」）（Zoomによる発表）。
- ・ 陸麗君 2022年12月10日、「華僑華人の越境的な移動とネットワークの形成—関西地域の華僑・華人のネットワークを手掛かりに—」日中社会学会冬季研究集会 特別企画「日中交流の展望を問う① 日中交流の過去と現在—グローバルな視点から問い直す」於成城大学 <書評>
- ・ 陸麗君 2022年3月、「奈倉京子編著『中華世界を読む』（東方書店、2020年）『日中社会学研究』2022年第29号

③過去の主要業績

- ・ 陸麗君 2017年6月、「越境にともなう起業と社会圏の形成—関西地域の新華僑・華人の経済活動を中心に—」『日中社会学研究』第25号、pp.22-31.
- ・ 陸麗君 2019年4月、「第6章「対立」から「融合」と「管理」へ—流動人口のネットワークをめぐる流入地での戦略」南裕子・閻美芳編著『中国の「村」を問い直す』、明石書店、pp176~198.
- ・ 陸麗君 2019年5月、「第16章 インナーシティの新華僑と地域社会」 鯨坂学・西村雄郎・丸山真央・徳田剛編著『さまよえる大都市・大阪 —「都心回帰」とコミュニティ—』、東信堂、pp316~324.

3. 外部研究資金

- ・ 文部科学省 科学研究費補助金（基盤研究 C）「在留外国人のトランスナショナル起業とその社会的影響——華人・華僑起業者を中心に」（研究課題番：21K01906）2021~2024年度 研究代表者
- ・ 文部科学省 科学研究費補助金（基盤研究 B）「生活困窮者自立支援の実践に見る社会包摂原理の日本的受容に関する学際的探究」（研究課題番：21H00636）2021~2024年度 研究分担者（研究代表者 水内俊雄・大阪市立大学）
- ・ 文部科学省 科学研究費補助金（基盤研究 C）「大都市ガバナンス改革の都市政治社会学的研究」（研究課題番：20K02089）2020~2023年度 研究分担者（研究代表者 丸山真央・滋賀県立大学）

- ・ 大阪市立大学先端的都市研究拠点「共同利用事業・共同研究公募」2021年度採択課題「外国人労働者の自立生活を支える社会的連帯ネットワーク——コミュニティハブ概念を中心に」2021年度 共同研究者（研究代表者 コルナトウスキヒェラルド・九州大学）
- ・ 九州大学 アジア・オセアニア研究教育機構（Q-AOS）学際的研究教育活動支援プログラム「流動的労働者コミュニティをめぐる地域ガバナンスに関する学際的研究——支援共助ネットワークの役割を中心に」2022年度 共同研究者（研究代表者 コルナトウスキヒェラルド・九州大学）

4. 受賞

5. 所属学会

日本社会学会、日本都市社会学会、地域社会学会、日中社会学会、関西社会学会

6. 担当授業科目

中国の社会と文化・2単位・1年と2年・後期、中国語Ⅱ-(1)A・1単位・2年・前期、中国語Ⅱ-(1)B・1単位・2年・前期、中国語Ⅱ-(2)A・1単位・2年・後期、中国語Ⅱ-(2)B・1単位・2年・後期、都市社会学・2単位・2年・前期、中国語Ⅲ-(1)・1単位・3年・前期、中国語Ⅲ(2)・1単位・3年・後期、公共社会学研究Ⅰ・1単位・3年・前期、公共社会学研究Ⅱ・1単位・3年・後期、卒業論文・6単位・4年・通年

7. 社会貢献活動

田川市「バリアフリー方針」作成協議会委員
田川市石炭・歴史博物館等運営協議会委員

8. 学外講義・講演

9. 附属研究所の活動等

中国華東理工大学社会与公共管理学院客員研究員
大阪公立大学都市科学・防災研究センター（UReC）特別研究員